



神戸市混声合唱団

Kobe City Philharmonic Chorus

2017年度 シーズンプログラム



Season Program 2017

2017年度 シーズンプログラム

2017年4月～2018年3月

定期演奏会

年2回秋・春に日本・海外の指揮者をお迎えして神戸市混声合唱団ならではの企画で合唱をお楽しみいただけます。

秋の定期演奏会 9/10(日) 14:00～

春の定期演奏会 2018年 3/11(日) 14:00～

場所：神戸市文化ホール 中ホール
料金：一般指定席 / 4,000円

合同定期演奏会

合同公演

神戸で30年余り演奏活動を続け、成熟したプロの演奏団体である神戸市室内合奏団と神戸市混声合唱団。神戸が日本に誇る、両団の合同演奏をぜひご堪能ください。

11/5(日) 14:00～

場所：神戸文化ホール 大ホール
料金：一般 / 4,000円 U25 (25歳以下) 1,000円

あなたに贈るコンサート

区民センターマチネシリーズ

神戸市内各地の区民センターで開催し、地域の方々に気軽に楽しみいただいているコンサートです。団員による趣向をこらした企画・構成をお楽しみください。

9/24(日) 14:00～

場所：神戸市立北神区民センター ありまホール
料金：一般/前売 1,300円 (当日1,500円)

10/8(日) 14:00～

場所：神戸市立西区民センター なでしこホール
料金：一般/前売 1,300円 (当日1,500円)

12/17(日) 14:00～

場所：神戸市立灘区民ホール
料金：一般/前売 1,300円 (当日1,500円)

2018年 1/21(日) 14:00～

場所：神戸市立東灘区民センター うはらホール
料金：一般/前売 1,300円 (当日1,500円)

※チケットの販売期間、販売場所は各公演により異なります。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮下さい。

※U25チケット(25歳以下)について、ご購入・ご来場の際は、年齢確認のできる証明書をお持ち下さい。

※やむを得ず、出演者、プログラムを変更する場合があります。

秋の定期演奏会

2017年9月10日(日) 14時開演 神戸文化ホール 中ホール

二人の指揮者による 20世紀の合唱 西と東

- バルト諸国とその周辺の時の流れ
- 日本とその周辺の名曲

指揮：アンドリス ヴェイスマニス
(リガ室内合唱団アヴェ・ソル)

指揮/おはなし：松原 千振

プログラム

- ・シェークスピア「嵐」よりアリエルの歌 Frank Martin
Songs of Ariel from Shakespeare's Tempest
- ・ラトヴィアの民謡集 Veljo Tormis
Latvian Bourdon Songs
- ・永遠の光 Maija Einfelde
Lux aeterna
- ・芭蕉の俳句による合唱曲 Evija Skuķe
- ・お天道様・ねこ・プラタナス・ぼく 芥川 也寸志
- ・サブ タンガン 池辺 晋一郎 他
ベンガルの舟歌

プログラム構成について

合唱指揮者 松原 千振

ヴァイオリニスト：ギトン・クレメール、チェリスト：ミシャ・マイスキー、指揮者：マリス・ヤンソンス等を輩出したラトヴィアは、1500年代から合唱音楽の創造に国民が務めた国であった。それは、帝政ロシア時代に始まった国民歌の祭典にも大きく影響している。1800年代後半から合唱団の設立、合唱指揮者の育成、その技術向上に教育機関が尽力し、ラトヴィア合唱の力強い流れを形成していく。

児童合唱を含め音楽教育を進めた結果、1900年代に入ると有能な合唱団がその成果をもとに活動し始め、世界にラトヴィアの合唱活動が伝わっていった。特にプロ合唱団「ラトヴィア放送合唱団」と室内合唱団「AVESOL」はこの国の合唱をリードするとともに、作品の創造にも大きく貢献してきた。ロマン派を継承する合唱曲、親しみを抱かせる民謡の数々、そして現代作曲家による合唱の機能を高める作品が豊かな音楽文化となって結実してゆくことになる。

1974年神戸市とラトヴィアの首都リガ市は姉妹都市として提携し、「AVESOL」の来日公演は4回にもおよび、特に1993年の演奏旅行は、日本の合唱界に大きな影響を与えた。室内合唱団「AVESOL」と神戸市混声合唱団は2010年に姉妹合唱団となり、神戸市混声合唱団も2013年にユネスコ無形文化遺産であるラトヴィア歌と踊りの祭典に招聘されるなどジョイントコンサートの開催また指揮者同士の交流も始まり、今回は「AVESOL」指揮者の4回目の来日となる。

今回のコンサートでは、室内合唱団「AVESOL」の指揮者でラトヴィア国立オペラの指揮者でもあるAndris Veismanisを招き、ラトヴィア近現代の作品と同時代のヨーロッパの合唱作品を計画した。20世紀という大きな変革の時代の音楽は、多様な困難の最中、作曲家は技法を駆使した結果、地域性に富み半面普遍性ある作品を生み出してきた。そのような背景とラトヴィアとその周辺、そして日本における動向も含め、合唱を通して姉妹都市である神戸市とリガ市の交流により、音楽活動の意義を高める機会としたい。

レクイエムの夕べ

合同公演

神戸市室内合奏団・神戸市混声合唱団の合同演奏で、阪神淡路大震災の犠牲者の方々への G. フォーレ作曲『レクイエム』の献奏を中心としたプログラムをお届けいたします。

2018年 1/17(水) 18:30~

場所: 神戸文化ホール 中ホール

料金: 一般 / 2,000円 U25 (25歳以下) 1,000円

わがまちコンサート・ピフレ

新長田のピフレホールで行われるコンサートです。団員による季節に合わせた企画を解説付きでお届けしています。

6/9(金) 14:00~ 12/8(金) 14:00~

8/11(金) 祝 14:00~

場所: 神戸市立新長田労働市民センター別館 ピフレホール

料金: 一般 / 前売 1,300円 (当日1,500円)

海のコンサート

月毎のテーマを団員企画・おはなしでお馴染みのなつかしい曲や混声合唱の名曲をお楽しみいただくコンサートです。

5/12(金) 14:00~ 10/20(金) 14:00~

6/16(金) 14:00~ 11/17(金) 14:00~

7/14(金) 14:00~ 2018年 2/16(金) 14:00~

場所: 舞子ピラ神戸 あじさいホール

料金: 一般 / 前売 1,300円 (当日1,500円)

マンスリーミニコンサート in しあわせの村

年間を通じてテーマを副指揮者青木耕平の企画とお話で、お客様と最も身近な距離で演奏をお楽しみいただきます。

毎月第2日曜日 13:30~ 無料

※第2日曜日以外の月もありますので、ご確認ください。

2017年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年	1月	2月	3月
海のコンサート		12(金)	16(金)	14(金)			20(金)	17(金)				16(金)	
わがまちコンサート・ピフレ			9(金)										
					11(金)・祝								
					定期演奏会								
					あなたに贈るコンサート								
						10(日)							
						24(日)							
							8(日)						
							合同定期演奏会						
							5(日)						
									17(日)				
									レクイエムの夕べ				
										21(日)			
										17(火)			

春の定期演奏会

2018年3月11日(日) 14時開演 神戸文化ホール 中ホール

「神戸が生んだ幻の天才作曲家 大澤壽人合唱曲作品展」

指揮: 岩村力

プログラム

おはなし: 生島 美紀子

I ・『朝日放送ホームソング集』より

春の扉・ひまわりの歌・公孫樹のロンド 他

II ・物語詩曲《たぬき》 詩: サトウ・ハチロー

プログラム構成について

大澤資料プロジェクト代表・神戸女学院大学 非常勤講師 生島 美紀子

神戸生まれの作曲家、大澤壽人(1906-53)は戦前に留学先のボストンとパリで、戦中・戦後は日本で活躍した。1933年には日本人としてボストン交響楽団を初めて指揮し、自作を披露。また1935年にはパリでコンセルヴァトワール管弦楽団を率いて日本人初の作品発表を開催、来場した20世紀前半の大作作曲家達から称賛を受けた。戦前の日本洋楽史における金字塔を打ち立てた作曲家である。

戦後は敗戦から復興中の日本で、音楽の喜びを人々に届けようと多彩な活動を展開。殊に、ラジオは大澤の作品発表の主要な場で、JOBKラジオや新開局した朝日放送ラジオから、膨大な作曲・編曲作品を放送した。47歳で急逝したため、没後は1000に近い作品と共に半世紀以上忘れられていたが、近年になって再評価が著しい。日本の音楽文化を向上させた功労者である。

2018年3月 神戸市混声合唱団定期演奏会は、この郷土が誇る天才作曲家のラジオ用合唱作品に焦点を当てる。

第I部『ABCホームソング集』は、大澤が朝日放送で企画・作曲・編曲・指揮を担当したレギュラー番組、「ホームソング」で放送された歌を紹介する。1952年の番組開始時から毎週新しい歌が発表され、49曲まできた所で大澤が急逝したため、最晩年の作品となった。65年近く前に作曲されたとは思えないお洒落な歌の数々から、「四季」を追い、当時の「世相」を反映する歌を選んで構成する。

第II部《たぬき》は戦中の作品の77年ぶりの復活演奏となる。サトウ・ハチローの詩に基づいて作曲されたユーモラスな作品は、当時は演奏会開催が困難なゆえに放送劇として発表されたが、その音楽的充実からはオペレッタと呼んで過言でない。独唱陣と合唱と管弦楽のために書かれた作品を、この度は新たにピアノ伴奏版に編曲し、演奏会形式による世界初演を行う。

大澤の代表作CDは「2004年度文化庁芸術祭レコード部門最優秀賞」を受賞している。神戸市混声合唱団定期演奏会ではそうした演奏会用大作だけではなく、「親しみやすい良質の音楽」を創作した大澤の、知られざる一面に光を当て、地元神戸から大澤の音楽を積極的に発信していく。



神戸市混声合唱団

1989年に神戸市により設立された日本を代表するプロフェッショナルの合唱団。神戸を拠点に童謡・唱歌、日本歌曲、外国歌曲、オペラ、シャンソンまで豊富なレパートリーをもち、市民に身近な合唱団として親しまれ「音楽のまち神戸」推進に大きな役割を果たしている。

2005年には、ウラディーミル・アシュケナージ指揮、NHK交響楽団と「レクイエム」（阪神・淡路大震災10年）を共演。2010年、合唱の国ラトヴィア（リガ市）で世界的に有名な室内合唱団「アヴェ・ソル」とジョイントコンサートを行い、姉妹合唱団協定を締結。2013年7月、リガ市からの招聘により、ユネスコ無形文化遺産であるラトヴィア「歌と踊りの祭典」に出演。

また、2011年に初のCD、特別演奏会「宇野功芳 叙情の世界」を、2012年には第2弾CD「宇野功芳 叙情の世界2」をリリースし、レコード芸術特選盤などに選出される。澄みきった密度の高い合唱は、美しい神戸ハーモニーとして高い評価を得ている。

副指揮者	……………	青木 耕平	太田 務					
コンサートマスター	…	福嶋 勲	(バス)					
ソプラノ	……………	老田 裕子	奥田 愛	金岡 伶奈	杉浦 希未	田中めぐみ		
		内藤 里美	西尾 薫	●端山 梨奈	丸山 晃子	三河 紀子		
アルト	……………	高原いつか	野上 貴子	長谷川明莉	林 真衣	肥田真莉子		
		村井 優美	●八木 寿子	山田 愛子				
テノール	……………	秋本 靖仁	井澤 章典	総毛 創	谷口 文敏	土井 淳平		
		坂東 達也	馬場 清孝	●眞木 喜規	三木 秀信			
バス	……………	池田 真己	嶋本 晃	高橋 純	武久 竜也	谷本 尚隆		
		中野 嘉章	●西尾 岳史					
ピアノ	……………	大原亜樹子	河内 仁志	金月 里紗	●沢田真智子	中村 圭介		
		前川 裕介	松永 玲子	三好 一花				
マネージャー	……………	皆本美千代						(●パートリーダー)

※チケットの販売期間、販売場所は各公演により異なります。

※U25チケット(25歳以下)について、ご購入・ご来場の際は、年齢確認のできる証明書をお持ち下さい。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮下さい。

※やむを得ず、出演者、プログラムを変更する場合があります。

【お問い合わせ先】

(公財)神戸市民文化振興財団 事業部 演奏課

〒650-0016 神戸市中央区橘通3丁目4番3号

TEL. 078-361-7241 FAX. 078-361-7182

ホームページ: <http://www.kobe-ensou.jp/>



ホームページ



/kobeensou

(公財)神戸市民文化振興財団 事業部 演奏課では、フェイスブックでも公演情報や公演当日の様子などを配信しております。



フェイスブック

主 催：(公財)神戸市民文化振興財団・神戸市